

駅デザ会議

第5回エリアマネジメント部会

本日の内容

- ①豊橋駅前におけるエリアマネジメントの推進体制
- ②次年度から行うプレ事業について

<前回のご意見>

- ・駅デザ会議も協議会だが、周辺の自治会の会長や各ビルのオーナー会社、大学等に参加してもらっており、個人として参加している人はいない。しかしその場合は年齢や性別などの属性が偏って重くなる。オーソライズする場としては適しているが、多様な意見を集めたい環境に適しているかという疑問はある。
- ・また、組織の代表の集まりの中に個人として参加している方が自由に意見を言えるかという点も難しいかもしれない。できれば女性もいられるようなフラットな場を作りたい。
- ・組織で参加するメリットは、人が変わるために個人の負担が軽減されるというメリットがある。
- ・資金を持つ法人がなければ絵に描いた餅になってしまう。まずは原資を持ち、それをどう運用するかということが重要。また、ある程度の人にはこれを仕事でやらないと、経験上3年で心が折れてしまう。
- ・株式会社なのでお金を出すには理由がいる。社団法人が何をするのかということ。企業がお金を出しやすくなるような建てつけをしてもらえると、広く企業にお金を出してもらえるのではないかと。個々の企業の戦略を読み取って、こうなればお金を出してもらえるのではないかと建てつけをしてもらえると助かる。
- ・エリアマネジメントの中で一番汗をかく人の顔によって、イメージが大きく依存される。黒野さんか小川さんか、かっちりした男性なのか若い女性が走り回っているかなどで色合いが違ふ。この地域のエリアマネジメントで、どのような人がエリアマネジメントの色を出していくべきかということも議論するべきではないか。どんな人が活躍できる枠組みがいいのかということ
- ・お金を管理する人は、別物であるべき。seboneや雨の日商店街の人は、それぞれチームとしてギャランティーがあるからできる。今は黒野さんでないとお金のマネジメント等ができない。千葉県鎌ヶ谷市の事例は理想的だと感じていて、最終的に願わくは商店街すべてが参加して、周辺一帯をデザインする。

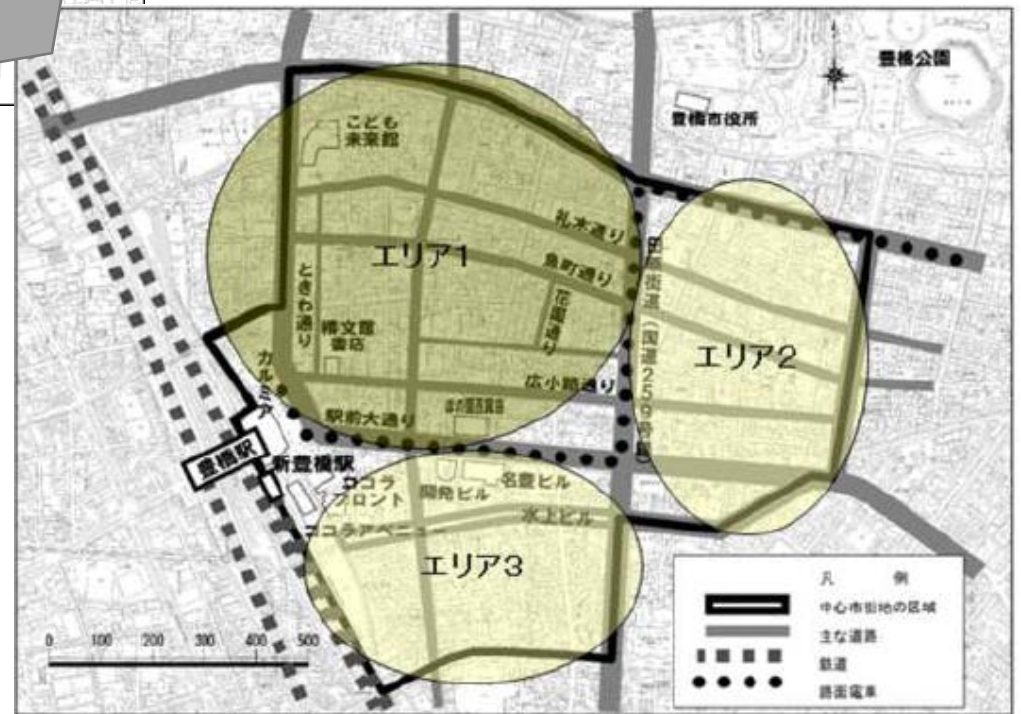
法人と個人のハイブリッド型組織

お金に対して責任を持つ法人

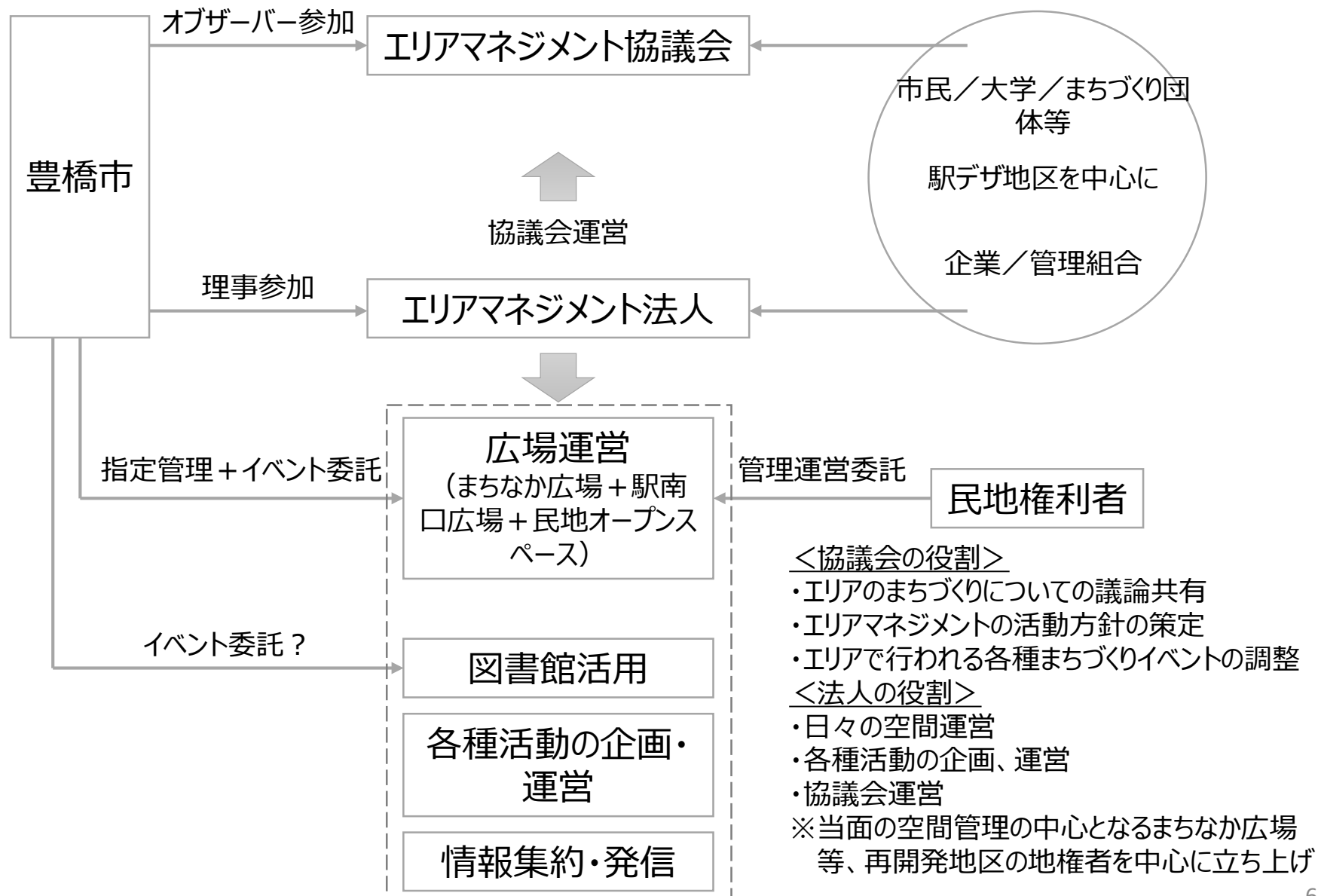
マネジメントを仕事として係る人を確保

組織体制の基本的な考え方

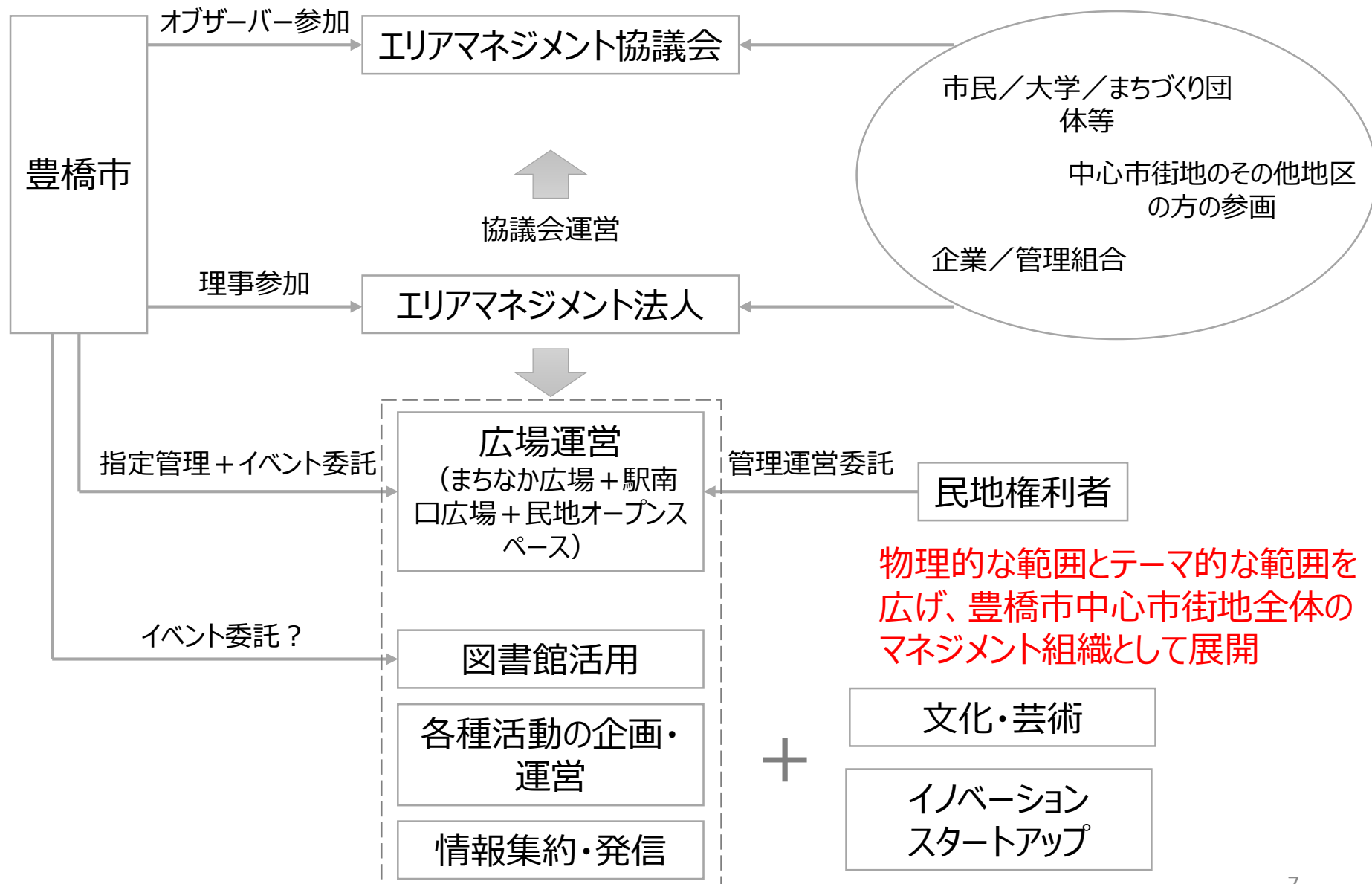
- ① 豊橋駅前大通南地区から始め中心市街地全体へ展開
- ② 多くの人々がかかわれる場（協議体）と実践を支える場（法人）の二つの場を形成
- ③ 民間と行政の協働の体制・仕組みを構築（民間の力を引き出す行政のサポート）



【豊橋駅前エリアマネジメントの組織構成（今から5年～7年程度）】



【豊橋駅前エリアマネジメントの組織構成（今から7年～）】



【豊橋駅前エリアマネジメントの組織構造】

■ 豊橋駅前エリアマネジメント協議会

<目的>

- ・豊橋駅前エリアの価値向上に向けて街づくりの方向性について議論すると共に、必要なまちづくり活動を企画、協議、調整、実施することを目的とする。

<構成>

① 会員

正会員a：エリア内の地権者及び事業者で本会の事業推進に貢献するもの

正会員b：エリア内の個人及び団体（町会、組合）で本会の事業推進に貢献するもの

賛助会員：本会の活動を支援・推進する団体及び個人

② 役員

会長／副会長／理事／監査役

③ 事務局

協議会の事務全般や各種活動の調整を担う

→ 初期段階は再開発組合？

→ 法人が立ち上げれば法人？

④ 部会

実際の活動を担う組織として、活動領域に応じて設置

→ 広場活用部会

→ イベント調整部会

→ コミュニティ部会 等々

⑤ 運営資金

運営は本会の目的に賛同した会員の会費等で行う

→ 会費

→ 事業協賛金（TMOからのお金） 等々

■ 豊橋駅前エリアマネジメント法人

<目的>

- ・豊橋駅前エリアマネジメント協議会によって共有された様々なまちづくり活動について、その推進、実践に寄与すると共に、実践に必要な各種調整を担うことを目的とする。

<構成>

① 会員

会員：エリア内の地権者及び事業者で本会の事業推進に貢献するもの。

→ 再開発事業の権利者の他、どこまで広げる？

② 役員

会長／副会長／理事／監査役

→ 会長や理事は誰を想定するか？

③ 事務局

法人の事務全般（各種契約行為等）や協議会の運営、日常的な広場管理・運営等を担う

→ 当面はサーラグループで担う？

→ 2～3名程度の専属スタッフをどう確保する？

④ 運営資金

運営は本会の目的に賛同した会員の会費及び事業収益等で行う

→ 会費

→ 事業協賛金

→ 指定管理

→ 収益事業 等々

意思決定については協議会がオーソライズ機関として、各種取組みを調整。法人は実施主体としての各種事務。

TMOとの関係をどうするか（資金援助、事業を一部移管等）

【豊橋駅前エリアマネジメント協議会の規約の構造】

名称	豊橋駅前エリアマネジメント協議会	
目的	本会は、豊橋駅前エリアの価値向上に向けてまちづくりの方向性について議論すると共に、必要なまちづくり活動を企画、協議、調整、実施することを目的とする。	
活動内容	本会は、上記の目的を達成するために以下のような活動を行う ①地域価値の向上に資するまちづくり活動の協議・企画・調整 ②公共施設等の運営に関する事業 ③地域のコミュニティ形成に関する事業 ④地域に関する様々な情報発信 ⑤その他まちづくりに関する諸活動	
区域	本会の活動地域は豊橋市駅前地区とする	
構成	本会は以下のような主体によって構成される 正会員a：〇〇社、正会員b：〇〇氏、〇〇町会、〇〇管理組合 賛助会員：〇〇氏、〇〇社 オブザーバー：豊橋市 ※企業、団体を中心としながらも運営に関与するプレイヤーを正会員や賛助会員として位置付ける事とする。また、入会要件を規定する。	
役員	本会は以下の役員を置く 会長：〇名（幹事より指名） 副会長：〇名（幹事より指名） 幹事：〇名 監査役：〇名	
意思決定構造	総会	正会員によって構成 ＜議決項目＞ 役員の選任／予算の決定、決算の承認／事業計画の決定、事業報告の承認／規約の制定及び変更／本会の解散／その他本会の重要事項
	幹事会	会長、副会長、幹事、部会長によって構成 ＜議決項目＞ 会員の入会／各種規定の創設・改廃／総会の議決した事務の執行／総会への付議事項の決定／部会の設置・廃止及び内規／事務局の体制及び運営
執行体制	事務局	本会の事務全般を処理 事務局長及び事務局次長、事務局員を配置
	部会	活動内容に応じて部会を設置し運営 部会毎に世話役とサポートメンバーを配置
会計	本会の収入とその管理及び報告 会費／寄付／協賛金／事業収入	

【豊橋駅前エリアマネジメントの立ち上げ方】

① 駅デザ会議エリアマネ部会の発展的解消により協議会設立

- ・これまでの駅南地区のまちづくりの関係者や経緯を踏まえて組織立ち上げ
- ↓
- ・民間プレイヤーを主体とした機動力ある活動体として動ける
- ↓
- ・行政施策との直接的な連携に若干難があるかもしれない
- ・中心市街地全体に発展していく時の理屈、位置づけに苦労するかもしれない
- ・いくつもの組織が立ち上がることにに対する負担感が発生するかもしれない

② 豊橋まちなか活性化推進協議会内に「（仮称）駅前エリアマネジメント部会」を設置し協議体として運営

- ・豊橋市が事務局となり、まちなかの関係者が集まる既存協議会を活用し組織立ち上げ
- ↓
- ・行政施策との連携やまちなかの主要な企業等の確認のもとに動ける
- ・中心市街地全体に展開していく時にスムーズな移行が可能
- ↓
- ・既存協議会メンバーの合意形成が必要となる
- ・事務局体制をどのように構築するか調整が必要となる

どのような立ち上げ方をしていくのかについて、行政とも協議しながら確定させていきたい

豊橋まちなか情報ステーションとは

『豊橋まちなか情報ステーション』は、豊橋まちなか活性化推進協議会が運営管理をしている情報サイトです。まちなかのイベント情報を中心に、まちなかに関する様々な情報を発信しています。

豊橋のまちなかでは、様々な目的をもった人々が集まり、活動しています。

その目的は、買い物、生活、交通、仕事、交流、市民活動など多岐にわたります。

この「豊橋まちなか情報ステーション」は、そのような様々なまちなかの情報が集まるプラットフォームを目指しています。

豊橋まちなか 活性化推進協議会

豊橋まちなか活性化推進協議会は、中心市街地活性化のために官民協力して事業を実施するための組織です。平成12年の設立以来、中心市街地活性化のための啓発活動や調査研究、イベントの支援などを行ってきました。現在1市12団体により、力を合わせてまちづくりに取り組んでいます。

構成団体

- ・ [豊橋市](#)
- ・ [豊橋商工会議所](#)
- ・ [日本貨物鉄道\(株\)東海支社](#)
- ・ [豊橋鉄道\(株\)](#)
- ・ [豊橋ステーションビル\(株\)](#)
- ・ 豊橋銀行協会
- ・ [中部ガス\(株\)](#)
- ・ 豊橋タクシー協会
- ・ [\(株\)総合開発機構](#)
- ・ 豊橋信用金庫協会
- ・ 豊橋発展会連盟
- ・ 都心大型店連絡協議会

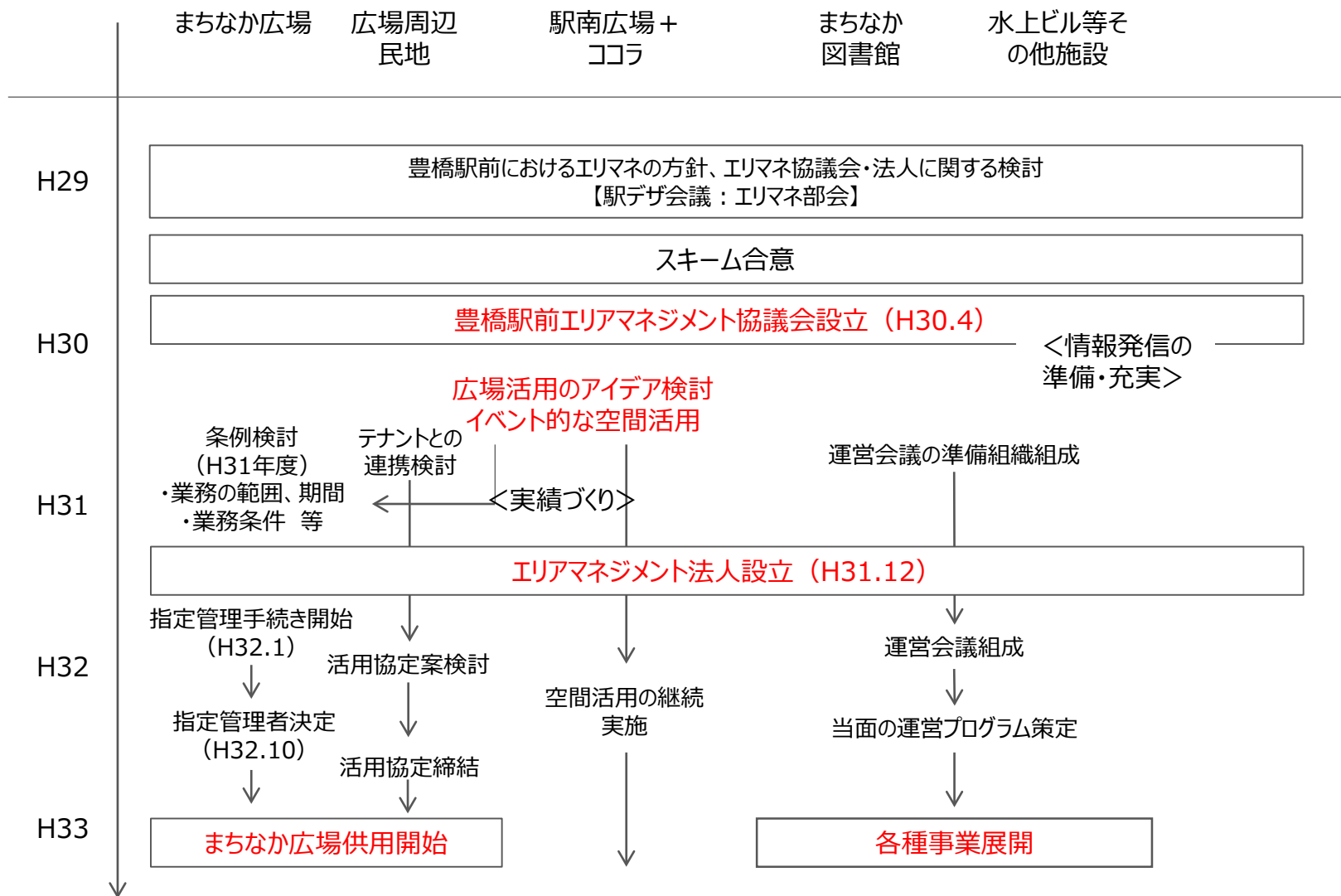
駐車場情報

- [まちなかパーキング\(共通駐車券\)・市電おかえりキップ](#)
- [まちなかパーキングマップ](#)
- [まちなかパーキング・市電おかえりキップ加盟店](#)
- [公共駐車場](#)

南口駅前広場の利用情報

- [豊橋駅南口駅前広場の使用申込みについて](#)

【豊橋駅前エリアマネジメントの立ち上げステップ】

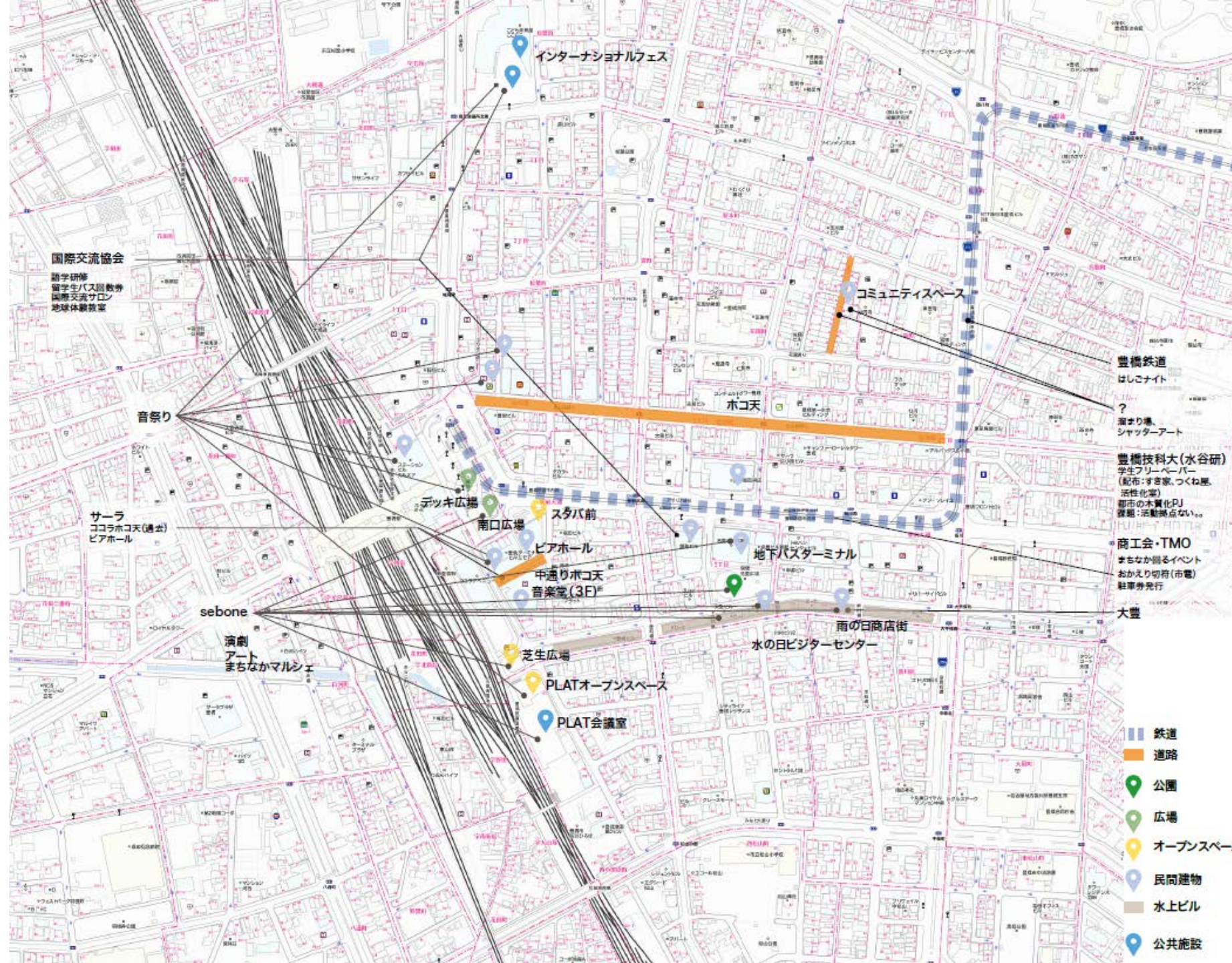


次年度からのプレ事業について

✓次年度から広場や空き店舗等を活用した事業
の検討、実施を旨指したい

次回に向けて考えたいこと

- ①どこでやるか
- ②何をやるか
- ③誰がやるか
- ④どれくらいの規模でやるか（期間等）



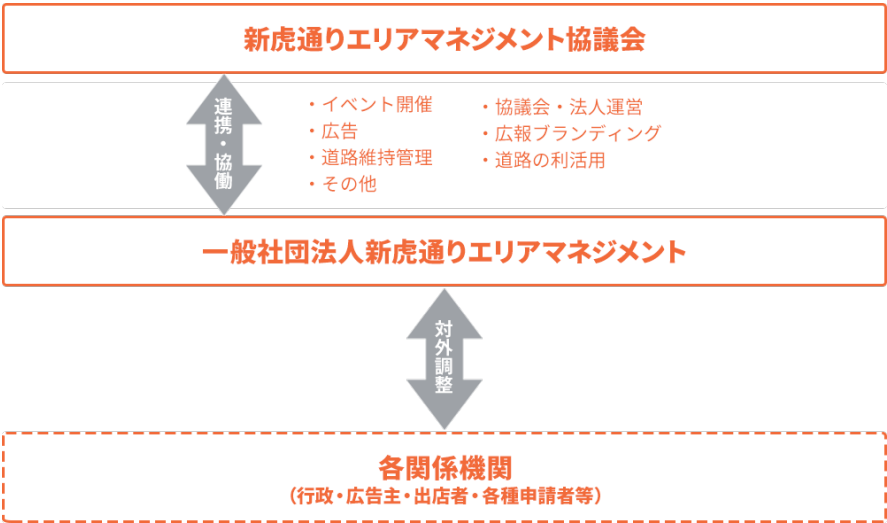
	浜松まちなかにぎわい協議会	浜松まちなかマネジメント（株）
設立	2010年4月12日	2010年10月1日
目的	民間の活力を最大限に発揮しながら浜松市中心地の活性化を推進（自分たちのまちは自分たちの手で）	協議会の活動を継続的に支える財源を確保するとともに自らも積極的に中心市街地の活性化を推進する
主な収入	会費	事業収入
構成員	＜役員＞ 遠州鉄道（会長）、浜松商工会議所、浜松商店界連盟、浜松市、静岡銀行、浜松信用金庫、静岡新聞社、中日新聞、浜松ターミナル開発、ザザシティ浜松、サゴーエンタプライズ、遠鉄百貨店、浜松中央地区駐車場組合、まちなか商業者委員会、浜松料理協同組合、浜松中央地区自治会連合会、遠州信用金庫、浜松市文化振興財団、アクトシティ・ホールディング、日管、丸八不動産 ＜事務局＞ 遠州鉄道、浜松商工会議所、静岡銀行、浜松信用金庫、常勤5名（浜松市も協力）一般採用正社員 1 名 ＜会員＞ 65団体	＜株主＞ 遠州鉄道(株)、浜松商工会議所、浜松商店界連盟、(株)ザザシティ浜松、サゴーエンタプライズ(株)、(株)遠鉄百貨店、浜松中央地区駐車場組合、(株)静岡銀行、浜松信用金庫、遠州信用金庫 ＜資本金＞ 410万円 ＜役員＞ 【代表取締役】村松 修（遠州鉄道） 【取締役】小杉 和弘（浜松商工会議所） 【取締役】河合 章（商店界連盟） 【取締役】河合 正志（遠州鉄道・浜松まちなかにぎわい協議会事務局長） 【監査役】橋下 和弘（浜松信用金庫） 【監査役】伊藤 徳直（静岡銀行） ＜社員＞ 常勤12名
主な活動	イベント支援事業 空き室利活用事業 回遊促進事業	エリアマネジメント広告事業 ソラモ指定管理事業 浜松こども館指定管理事業 イベント支援事業

○大丸有地区



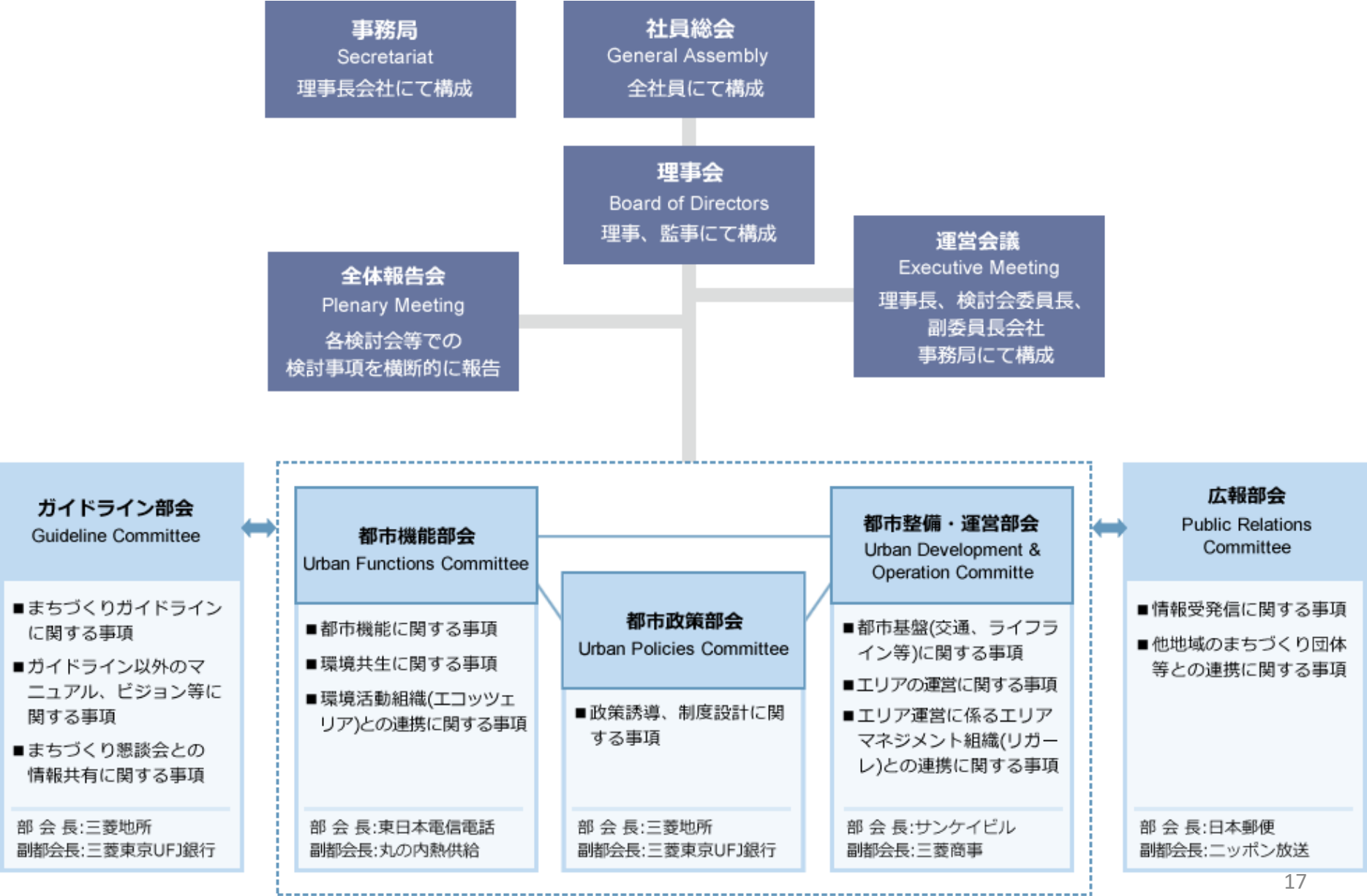
- ・地権者組織である協議会（当初は任意団体で現在は一社）がエリアのまちづくり等の各種検討、協議を行い、行政等と構成する懇談会で方向性の共有を図る体制。
- ・具体の公共空間活用やイベント等の運営は別途立ち上げたNPO法人や一社が担う体制。

○新虎通り地区

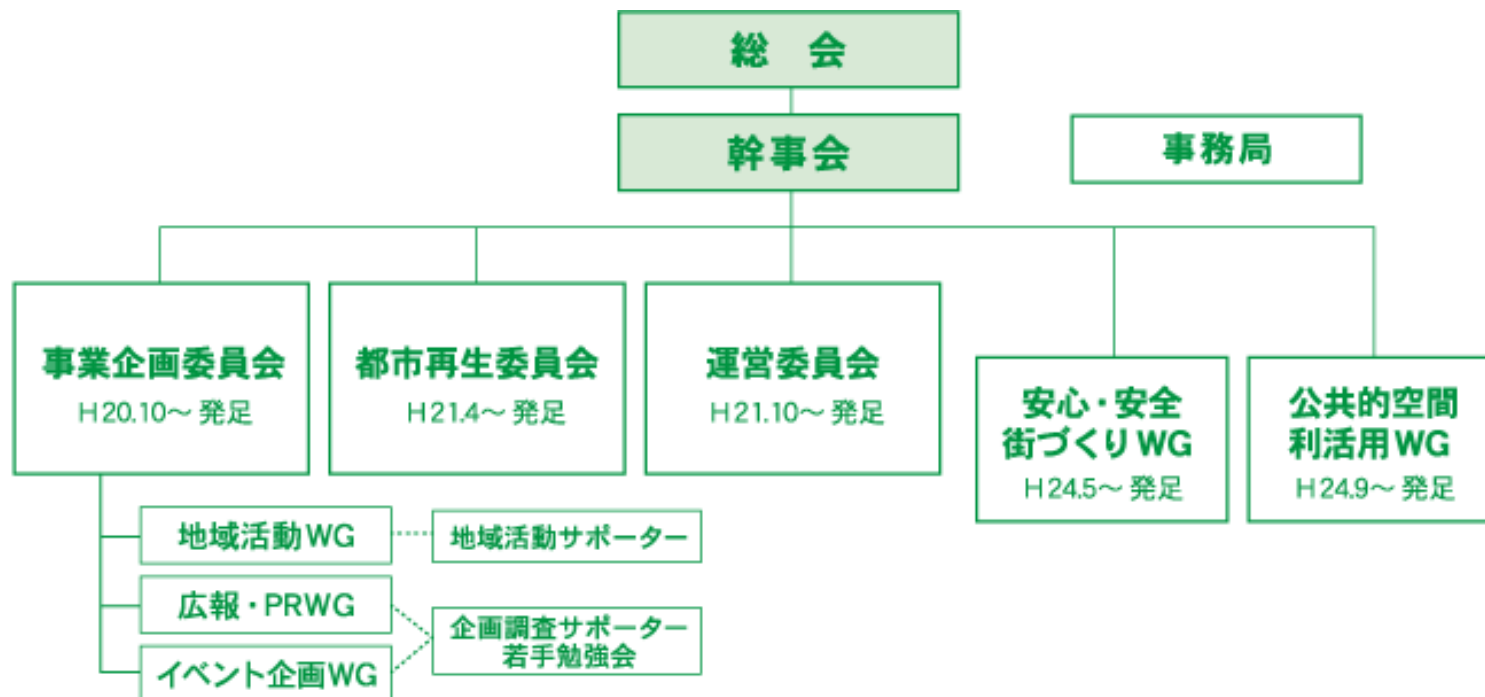


- ・新虎通り沿道の地権者、借家、借地権者等によって構成される協議会（任意団体）がエリアのまちづくり等の各種検討、協議、実施を行い、具体の事業運営にあたっては、別途立ち上げた一社が担う体制。

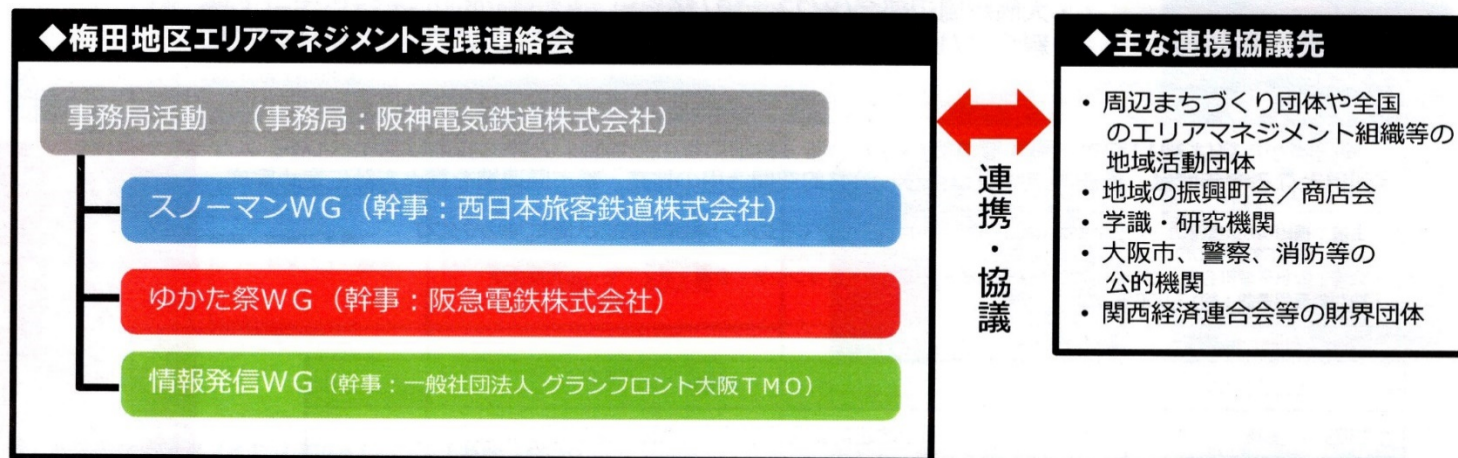
○大丸有まちづくり協議会



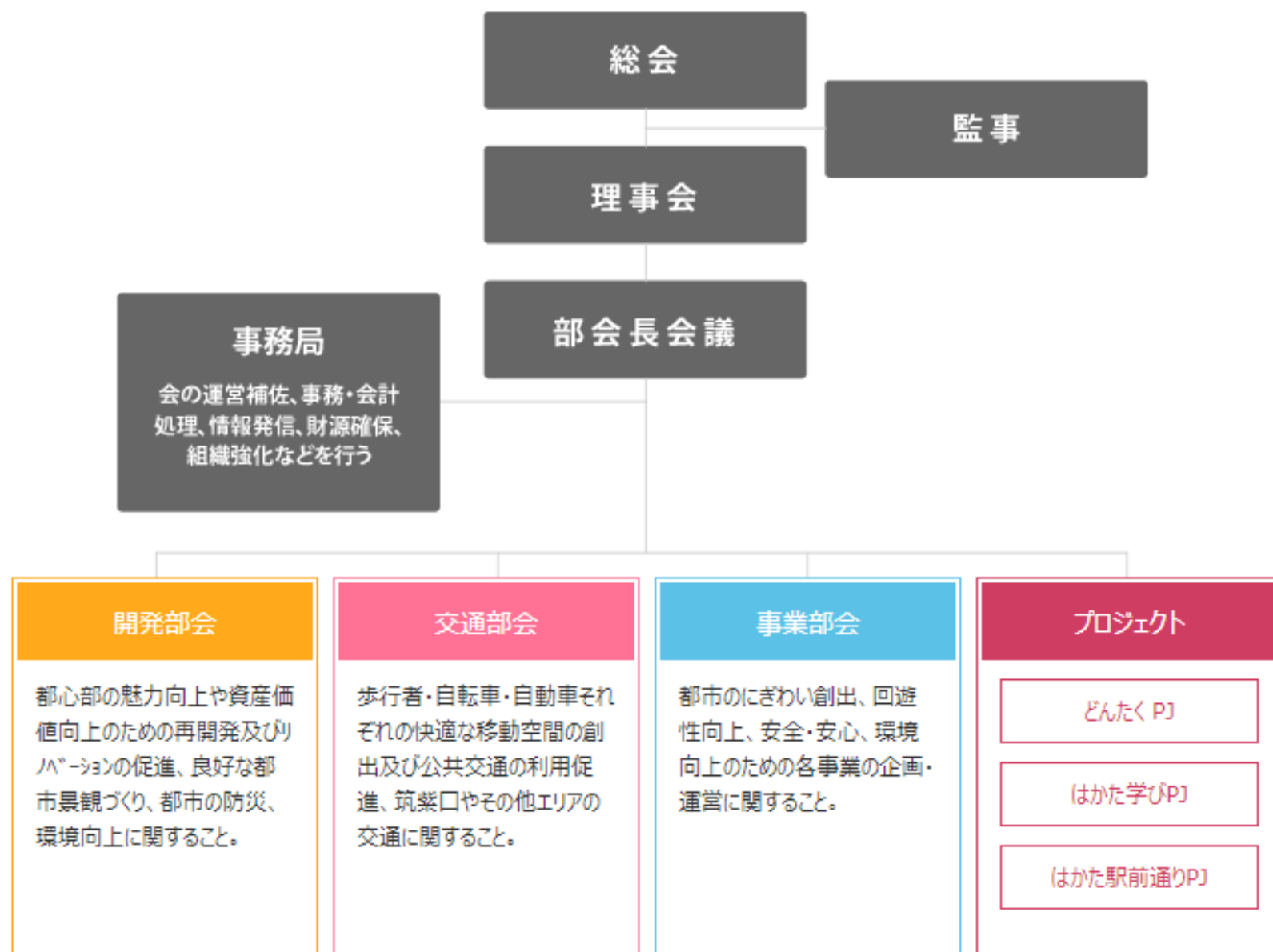
○名古屋駅地区街づくり協議会



○梅田地区エリアマネジメント実践連絡会



○博多まちづくり推進協議会



○We Love天神協議会

